

聖書メッセージ 創造主に立ち返る

伝道者の書 11章 7～10節、12章 1～14節

- 11:7 光は心地よく、日を見ることは目に快い。
- 11:8 人は長い年月を生きるなら、ずっと楽しむがよい。
だが、闇の日も多くあることを忘れてはならない。すべて、起こることは空しい。
- 11:9 若い男よ、若いうちに楽しめ。若い日にあなたの心を喜ばせよ。
あなたは、自分の思う道を、また自分の目の見るとおりに歩め。
しかし、神がこれらすべてのことにおいて、
あなたをさばきに連れて行くことを知っておけ。
- 11:10 あなたの心から苛立ちを除け。あなたのからだから痛みを取り去れ。
若さも青春も空しいからだ。
- 12:1 あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。
わざわざの日が来ないうちに、また「何の喜びもない」と言う年月が近づく前に。
- 12:2 太陽と光、月と星が暗くなる前に、また雨の後に雨雲が戻って来る前に。
- 12:3 その日、家を守る者たちは震え、力のある男たちは身をかがめ、
粉をひく女たちは少なくなって仕事をやめ、
窓から眺めている女たちの目は暗くなる。
- 12:4 通りの扉は閉ざされ、臼をひく音もかすかになり、人は鳥の声に起き上がり、
歌を歌う娘たちはみな、うなだれる。
- 12:5 人々はまた高いところを恐れ、道でおびえる。アーモンドの花は咲き、
バッタは足取り重く歩き、風鳥木は花を開く。
人はその永遠の家に向かって行き、嘆く者たちが通りを歩き回る。
- 12:6 こうしてついに銀のひもは切れ、金の器は打ち砕かれ、水がめは泉の傍らで砕かれて、
滑車が井戸のそばで壊される。
- 12:7 土のちりは元あったように地に帰り、霊はこれを与えた神に帰る。
- 12:8 空の空。伝道者は言う。すべては空。
- 12:9 伝道者は知恵ある者であった。
そのうえ、知識を民に教えた。彼は思索し、探究し、多くの箴言をまとめた。
- 12:10 伝道者は適切なことばを探し求め、真理のことばをまっすぐに書き記した。
- 12:11 知恵のある者たちのことばは突き棒のようなもの、
それらが編纂された書はよく打ち付けられた釘のようなもの。
これらは一人の牧者によって与えられた。
- 12:12 わが子よ、さらに次のことにも気をつけよ。多くの書物を書くのはきりが無い。
学びに没頭すると、からだは疲れる。
- 12:13 結局のところ、もうすべてが聞かされていることだ。
神を恐れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである。
- 12:14 神は、善であれ悪であれ、あらゆる隠れたことについて、
すべてのわざをさばかれるからである。

創造主に立ち返る

伝道者の書11章7～12章 2021/12/19

I. 人生は楽しむべき (11:7～10)

1. 厭世主義、禁欲主義は、聖書ではなくギリシア哲学から
2. 人生の楽しみは神からの贈り物

「光は心地よい」「長い年月を生きる幸せ」
「ずっと楽しむがよい」「若い男よ、若いうちに楽しめ」
生命維持のシステム(人知の及ばない仕組み)
「創造価値」「体験価値」「態度価値」 (ヴィクトール・フランクル)
「私たちにすべての物を豊かに与えて楽しませてくださる神」(1テモテ 6:17)

3. 闇の日(不運の日)もあるのだから

痛みも悲しみも別離もないのは天国へ行ってから(黙示録 21 章)
他の人を不幸にしてまで楽しみを求めるのは罪(「神はすべてのことについて裁かれる」)



II. 人生に楽しみがなくなっていくとき (12:1～8)

1. オイルショック(「老いるショック」 みうらじゅん)

- ・ 判断力、記憶力があやしくなっていく(太陽、月、星が暗くなる、雨雲が戻って来る)
- ・ 腕や手に震えが起きる(「家」を守る者たちが震える)
- ・ 肩や腰に力が入らない(力ある男たちが身をかがめる)
- ・ 歯が抜け、咀嚼ができなくなる(粉をひく女たちは仕事をやめ)
- ・ 目がかすむ(窓から眺めている女たちの目は暗くなる)
- ・ 耳が聞こえにくくなる(通りの扉は閉ざされる)
- ・ 食べ物をしっかり噛むことができない(白をひく音もかすかになる)
- ・ ちょっとしたことでも目が覚めてしまう(鳥の声に起き上がる)
- ・ 声がしわがれ、歌うことができなくなる(歌を歌う娘たちはうなだれる)
- ・ 転落や転倒を恐れ、家の外に出ないようになる
- ・ 髪が真っ白になる(アーモンドの花のように)
- ・ 歩行が困難になる(バツは足取り重く歩く)
- ・ 動脈、静脈が切れ、脳死が起こる(銀のひもは切れ、金の器が打ち砕かれる)
- ・ 心臓は役割を終え、もはや血液を循環させることはできない(水がめは砕かれ、滑車は壊れる)



2. 肉体は土に帰るが、たましい(霊)は神に帰る

- ・ 「私のお墓の前で泣かないでください / そこには私はいません」 (「千の風になって」)
- ・ たましい(霊)は今どこに？
- ・ 神は、善であれ悪であれ、あらゆる隠れたことについて、すべてのわざをさばられる(12:14)

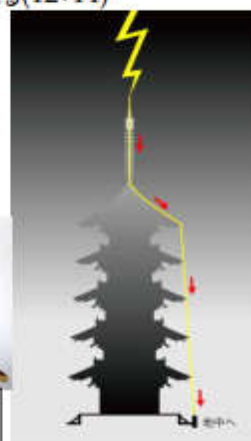
Ⅰヨハネ 2:1,2 もしだれかが罪を犯したなら、私たちには、御父の前でとりなして下さる方、義なるイエス・キリストがおられます。この方こそ、私たちの罪のための、いや、私たちの罪だけでなく、世全体の罪のための宥めのささげ物です。

III. 結論 (12:9～14)

真理は「痛い」(突き棒)が、物の見方が整理される(壁の釘)

1. あなたの創造者を覚えよ(私は生かされている)
2. 神を恐れよ(聖書に 278 回) (そうすれば他の何も恐れることはない)
3. 神の命令を守れ

ヨハネ6:28, 29 彼らはイエスに言った。「神のわざを行うためには、何をすべきでしょうか。」イエスは答えられた。「神が遣わした者をあなたがたが信じること、それが神のわざです。」



保護角 45° (60°)